

科目名	コンサート概論1						年度	2024	
英語科目名	Introduction to Concerts 1						学期	前期	
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート制作コース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	八幡一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		コンサートプロモーター/ コンサートプロデューサー		
【科目の目的】 コンサート・音楽イベントについて必要不可欠な知識を学びます。音楽業界を中心に多岐にわたる様々な職種について幅広い知識を得ることにより、エンタテインメント産業の全体像を学習する。目紛しく変化が著しい音楽業界において現状の動向を踏まえながら、未来のライブイベントビジネスをリードするイベントプロデューサー、コンサートプロモーターの人材として、知識と能力を身に付けることを目的とします。									
【科目の概要】 ライブエンタテインメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、音楽業界の核となるプロダクション・レコードメーカー・音楽出版社の構造を理解する。さらにライブエンタテインメントビジネスに特化したアーティストマネージメント業務、プロダクション業務、コンサートプロモーター業務、イベンター業務を学ぶ。									
【到達目標】 A 音楽イベントの形式・開催場所について理解し説明できる B アーティストマネージメントについて理解し説明できる C 会場押さえから施設利用について理解し説明できる									
【授業の注意点】 授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	音楽イベントの形式・開催場所について理解し説明できる		音楽イベントの形式・開催場所について理解できる		音楽イベントの形式・開催場所について理解が乏しい				
到達目標 B	アーティストマネージメントについて理解し説明できる		アーティストマネージメントについて理解できる		アーティストマネージメントについて理解が乏しい				
到達目標 C	会場押さえから施設利用について理解し説明できる		会場押さえから施設利用について理解できる		会場押さえから施設利用について理解が乏しい				
【教科書】 参考書・参考資料等は、授業中に指示します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 * 試験と課題を総合的に評価する。 * 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する。 * 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサート概論1			年度	2024
英語表記		Introduction to Concerts 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽との関わり方	音楽メディアユーザー実態調査を参照し同世代の音楽との関わり方を理解する	1 ユーザーのセグメント	音楽視聴ユーザーの区分定義を理解する	2	
			2 音楽との関わり方	音楽視聴の年代別・経年変化を理解する		
			3 音楽の聴取方法	聴取層の音楽への関心度を可処分所得別に理解する		
2	音楽イベントの形式	音楽イベントの様々な開催形式を学ぶ	1 ワンマンコンサート	主催者が開催する興行について理解する	2	
			2 対バンイベント	ライブハウス等が主催する対バンイベントを理解する		
			3 フェスティバル	大型イベントの企画性、特色を理解する		
3	音楽イベントの開催場所	音楽イベントの様々な開催場所を学ぶ	1 ライブハウス	都内主要ライブハウスについて理解する	2	
			2 ライブハウスのキャパ	最大収容人数について理解する		
			3 営業形態	飲食店営業、特定遊興飲食店営業について理解する		
4	音楽イベントの開催場所	音楽イベントの様々な開催場所を学ぶ	1 ホール・会館・劇場	音楽専用・多目的・ジャンル特化の施設を理解する	2	
			2 各施設のキャパ	都内近郊の各施設の最大収容人数を理解する		
			3 運営母体	運営母体である行政、一般企業について理解する		
5	音楽イベントの開催場所	音楽イベントの様々な開催場所を学ぶ	1 アリーナ・スタジアム	多目的・音楽専用アリーナ、屋内外のスタジアムを理解する	2	
			2 各施設のキャパ	国内の各施設の最大収容人数を理解する		
			3 音楽の楽しみ方の変化	大型ライブハウスとの比較から演出の大規模化を理解する		
6	音楽イベントの開催場所	音楽イベントの様々な開催場所を学ぶ	1 野外	常設・特設・仮設野外会場について理解する	2	
			2 施設命名権	冠企業名会場、ネーミングライツのメリットを理解する		
			3 音楽イベントの企画	あらゆる施設、場所での音楽イベント開催の可能性を理解する		
7	興行イベントのアウトライン	興行イベントとコンサート・プロダクトについて学ぶ	1 プロダクション主催	アーティストワンマンコンサートアウトラインを理解する	2	
			2 ライブハウス主催	対バンイベントのアウトラインを理解する		
			3 学校主催	コンサート・イベント科主催イベントのアウトラインを理解する		
8	ミュージックフェスティバル	国外の代表的なミュージックフェスティバルについて学ぶ	1 Glastonbury Festival	ロックフェスの雛形について理解する	2	
			2 アメリカ3大フェスティバル	Coachella/Bonnaroo/Lollapaloozaについて理解する		
			3 世界3大EDMフェス	Tomorrowland/Ultra/EDCについて理解する		
9	ミュージックフェスティバル	国内の代表的なミュージックフェスティバルについて学ぶ	1 国内4大フェス	Fuji Rock/Summer Sonic/Rock in Japan/Rising Sunについて理解する	2	
			2 国内4大フェス	各フェスティバルの開催場所について理解する		
			3 国内4大フェス	フェス別の出演者の傾向を理解する		
10	ACPC基礎調査からコンサート・音楽イベントの動向	コンサート・音楽イベントの開催数、動員数を学ぶ	1 市場概況	公演数・動員数の概況について理解する	2	
			2 会場	会場規模別の動向について理解する		
			3 地域	大都市圏・中小都市圏のエリア別動向について理解する		
11	プロダクション業務	アーティストマネージメントの形態を学ぶ	1 セルフマネージメント	アーティスト活動の初期段階を理解する	2	
			2 業務委託契約	特定のプロダクション専属でないアーティスト活動を理解する		
			3 専属実演家契約	専属アーティスト活動に係る業務を理解する		
12	アーティストマネージメント	アーティストマネージメント業務を学ぶ	1 制作	コンサートを含め、付随する制作業務について理解する	2	
			2 宣伝	コンサートを含め、付随する宣伝業務について理解する		
			3 営業	イベント出演を含め、付随する営業業務について理解する		
13	会場押さえ	コンサート・各種イベント開催における会場利用を学ぶ	1 会場利用申込	会場利用に際しての利用申込について理解する	2	
			2 会場貸出時間区分	コンサート開催における全日押さえについて理解する		
			3 利用申込提出書類	公演企画書・公演概要書について理解する		
14	会場押さえ	会場側資料である施設利用マニュアルを学ぶ	1 会場図面	開催当日の制作運営上における最低限必要な会場図面を理解する	2	
			2 施設利用マニュアル	開催当日までの事前準備から当日運営を理解する		
			3 行政等への申請	消防署や著作権管理団体への申請を理解する		
15	まとめ	前期講義について	1 音楽イベントの形式・開催場所	音楽イベントの形式・開催場所について説明できる	2	
			2 アーティストマネージメント	アーティストマネージメントについて説明できる		
			3 会場押さえから当日利用	会場押さえから施設利用について説明できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等